

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ことばの森annex

公表日 2026年7月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

支援 の 提 供		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムはお子様の特性にあわせて工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			集団指導は行っていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼を行っている 支援終了後は必要に応じて、児発管を中心に職員間で情報共有を行い、次回の支援に繋げている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			直接連携し相互理解を図るより、保護者を仲介するが多い
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				現時点では行っていない ニーズ調査を行い、開催について検討したい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		当事業所では食事提供は行っていない 利用前にアレルギーの有無を確認し、アレルギー対策として施設内は飲食禁止としている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員に対し研修等を行っている 今年度対象児童なし	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに、身体拘束の適正化に努めます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ことばの森annex

公表日

令和 8 年 7 月 31 日

利用児童数 66名 回答数 55名 回答率 95%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	55	0	0	0	勉強する空間だけでなく少しリラックスできる空間があってよい／広々としていて過ごしやすく、活動にも適している	施設基準を満たしていますが、利用状況に応じて工夫していきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	54	0	0	1	十分な人数がいると思う	人員基準を満たし、加配の職員も配置した体制となっています 利用枠については建物の構造上、現在のご案内が最大枠となっていますので、希望時間帯の利用については空きが出た場合にご案内させていただきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	55	0	0	0	わかりやすく安全への配慮もある	利用者に合わせた合理的配慮を工夫しています 階段に手すりの設置、階段幅の確保等東
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	55	0	0	0	親子ともに安心して過ごすことができています	日頃から衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	54	1	0	0	毎回工夫し、飽きないようにしてくれている／専門誌を感じる指導をしてもらっており、効果も感じる	発音や言語に関する検査や保護者からのアセスメント等を基に計画立案を行っています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	55	0	0	0		HPにて支援プログラムを公表しています
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	54	0	0	1	こどもの状況を正確に把握されており、適切な内容になっている	引き続き、お子さまや保護者様からのご希望を伺い、支援に繋がるよう計画立案を行っていきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	1	0	3	適切かつ具体的な内容設定がされている	引き続きより良い支援となるよう、努めていきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	55	0	0	0	計画に沿って支援が行われている	計画に沿って支援を行っています 内容についてご質問がありましたら、ご遠慮なく担当までお声掛けください
	10	事業所の活動プログラム（※4）がお子様の特性に合わせて工夫されていると思いますか。	53	2	0	0	特性はもちろんその日の気分で調整してくれていてやる遂げることができている／好きなこと苦手なことをうまく取り混ぜてくれている／発達レベルに合わせた課題をていようしらっている	引き続き、お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて取り組める内容となるよう努めていきます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						当事業所では実施していません
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	54	1	0	0	説明があり、不明点への確認もありました	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を閲覧できるように設置しています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	54	0	0	1	丁寧に説明し、疑問や不安点をなくしてくれている／されました。不明点については質問ができ、十分な回答がありました	引き続き丁寧に説明に努めます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						当事業所では実施していません
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	55	0	0	0	毎回お話をする時間があり、情報共有できています	毎回の支援終了後にご家族へのフィードバックを必須としていますので、その際にご相談や日常の様子のご共有等を行います
	16	療育終了後に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	55	0	0	0	当日行った支援の説明や次回の課題を説明してくれる	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	0	0	0	親への支援もしていただいております感謝しております	引き続きお子さまやご家族が安心して利用いただけるよう努めます

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						当事業所では実施していません
保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともにこどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50	0	0	5	主にLINEでやり取りができて、気軽に相談できる環境が整っている／まだそのようなことがないので（利用していないので）わからない／相談しやすい雰囲気がある。また相談・申入れなどへの対応が適切、迅速であり、安心感がある	いつでもご相談いただけるような環境を整えることを意識しています またお話しいただいた内容については、迅速な対応を心掛けています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	55	0	0	0	通信案内が送られてきてわかりやすい／支援後やLINE上などで気軽に意思疎通できる	引き続き連携がとれるよう、お子さまやご家族とのコミュニケーションを大切にしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	48	5	0	2	徹底的に管理されていると思う／SNS等見ていないためわからない／LINEや通信等を参考にしています／LINEにて発信されており、確認したり見返したりしやすい	あねっくす通信やHP、LINE等を利用し、情報を発信しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	55	0	0	0	写真撮影を禁止するなどのルールがあり、留意されている	引き続き個人情報の取扱いについて十分に留意しています
非常時等の対応	23	事業所では、各マニュアル（事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等）が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	5	0	13	事前に周知・説明がありました	各種マニュアルは玄関付近に備え付けてあります 避難訓練や感染症、防犯等マニュアル整備を行っているものについては社内研修等を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	6	0	25	まだ参加していないためわからない／訓練実施したとの報告を受けている。災害時にはその都度情報提供がされていた	定期的に避難訓練を実施しています 実施の際はLINEや掲示などでお知らせしています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	47	1	0	7	安全確保がされており安心して通所できている	安全計画を策定し、社内研修を行っています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	4	0	15	そういう状況になったことがないのでわからない／事故など発生していない認識のため不明／まだ経験がない／そのような状況になったことがない。安全への配慮がされている	事故対応についてはマニュアルの策定、社内研修、ヒヤリハット報告など日頃から安全に留意しながら支援を行っています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	54	1	0	0	通所開始直後から安心して通えている／子どもの関心を引き出すようなプログラムと話を丁寧に聞いてくださるので、自然とおしゃべりになってきました。とても楽しく安心して通所できています	引き続き、皆さまが安心して通えるように、またお子様の成長につながる支援を提供できるように事業所運営を行っています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	51	4	0	0	課題が上がるにつれて本人も一部難しさを感じているようです／毎回前日から通所するのを楽しみにしている／一度も嫌がったことがなく、楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	55	0	0	0	大変満足している。通所し始めてから成長をととても感じられる／非常に満足している。信頼できる事業所だと感じる	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの森annex			
○保護者評価実施期間	2026年6月20日 ～ 2026年7月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数)	55
○従業者評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年7月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士による言語に特化した視点での支援	発音や語彙の習得だけでなく、伝えたい気持ちを引き出す関わりを大切に、コミュニケーション意欲の向上を図っている。 保護者へのフィードバックや家庭での声かけの工夫などを共有し、一貫した支援が行えるよう努めている。	保護者からの聞き取りやご家庭での様子の共有をより充実させ、支援内容へ反映するとともに、作業療法士や臨床心理士など多職種の専門的な視点も取り入れながら、お子さん一人ひとりに応じた支援の質の向上に努める。また、ご家庭でも実践しやすい具体的な関わり方を継続して提案していく。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援やこどもと保護者のニーズが客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されている	見学・アセスメントの時間をしっかり確保し、お子さまの現状やご家族の思いを丁寧に伺っている。 発達検査を実施している場合はその結果も確認し、個別支援計画に反映している。	より多角的な視点からお子さんの成長を捉えるため、作業療法士や臨床心理士などの専門職と連携し、一人ひとりの発達や保護者のニーズをより丁寧に見立て、個別支援計画の充実と支援の質の向上につなげていく。
3	事業所は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている子ども達の活動に合わせた空間となっている	安全で清潔、安心して療育を受けられる環境づくりを継続するとともに、教材や設備の点検・整備、衛生管理を定期的実施している。	今後も利用者や保護者からいただいたご意見を参考にしながら、より安全で安心できる療育環境の維持・向上に努めるとともに、お子さん一人ひとりにとって過ごしやすい環境づくりを継続していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に対する利用者への案内や周知、実施	個別支援・週1回利用が中心であるため、利用者が避難訓練に立ち会う機会は限られている。 また、限られた支援時間の中では、「療育を優先してほしい」とのご要望もあることから、現時点では全利用者を対象とした避難訓練の実施には至っていない。	見学时や面談時には必ず口頭説明+マニュアル場所の案内を行う。 避難訓練の実施や非常災害、感染防止等についてLINEや掲示等を利用し、周知する。 防災週間を新設し、防災マニュアルや避難方法の周知、避難場所・災害時の対応についてご理解いただく機会を設け、各ご家庭でも災害時の行動を確認していただけるよう取り組む。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会 父母会や保護者交流の機会	個別療育を中心に提供しており、療育後の個別相談や保護者へのフィードバックを重視しているため、家族支援プログラムや保護者交流会などの全体向けの取組を実施する機会が十分に確保できていない。また、保護者アンケートでは家族支援や交流の機会を希望する声が多く寄せられ、ニーズがあることが明らかとなった。	ペアレント・トレーニングやミニ勉強会、資料配布・配信など、参加しやすい形での情報提供を検討するとともに、交流会についても保護者のご意見を踏まえながら実施方法を検討し、家族支援の充実に努める。